

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌屯田校		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 27日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 10月 27日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を実施させていただいている事でお子さんの特性に合わせた支援がしやすい	個別支援計画の作成に伴い保護者様にしっかりアセスメントを取らせていただくことで、今の困り感をタイムリーに聞き出せるようにしている。また、お子さんの体調に合わせて支援内容も変更しながら進めている。	日々の活動の中での聞き取りをさらに充実化させることで柔軟な対応が出来るようにしていきたい。また、様々な特性に合わせた働きかけをスタッフ間で共有していく。
2	送迎を行っていない事で保護者様とフィードバックをさせていただく機会が持ちやすい	活動終了前15分程度前にお迎えに来ていただくお約束をさせていただいているため、じっくりお話を伺う事ができている。保護者様からのご要望に関しても受けやすい環境を整えている。	Lineや電話などのツールを用いてお話を伺う機会を多く設ける事でお悩みやお困りごとなどを共有できるようにしていきたい。
3	通所を楽しみにしていただけている	お子さんに合わせた支援を展開しているが、支援の中には「余暇時間」を必ず設ける事で活動の中に楽しみが含まれるようにしている。	スタッフもお子さんと一緒に楽しむ事を継続し、楽しいと思える活動を増やしていく。また、ご家庭での過ごし方も聞き取ることで、より充実した時間を過ごしていただけるよう創意工夫していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数	基準を満たす配置は出来ているが、指導員の配置上の関係で支援をお断りしてしまうケースが見られた。	人員の拡充を図りプラスαで人員を配置できるようにしていきたい。また、安心・安全面にも留意した運営を心掛けていく
2	同年代のお子さんとの関わり方について	個別療育という性質上、他児と関わる機会がかなり制限されてしまっている。保護者様からの要望がないという背景もあるが、上記内容については他関係機関にお願いしてしまっている事が多い。	季節のイベントや必要に応じた小集団の活動を適宜取り入れていけるように企画していきたい。また、その中で協調性も伸ばしていけるように計画していく。
3	安全運営に関わる活動の保護者様への周知	会社全体で義務化になっている項目の研修や訓練に参加しているが、教室内で周知する機会は少なかったため、保護者様には何をしているのか伝わりづらかったように感じる。	教室で運営しているHPやInstagramなどは外部に向けた発信になっていたため、保護者様にも見ていただけるよう声掛け・発信できるようにしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌屯田校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 37

回収数 32

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	2	0	0		物の配置を常に考えながら少しでも広々と使えるように考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1	0	3	もう少しいて欲しい。	積極的に採用活動を進め、必要なヘルプ要請を随時展開し、一人でも多く通所して頂けるように整えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1	0	3	パーティションで個人のスペースが区切られているので集中しやすいと思う。	お子さんによっては個室も使用し、集中しやすい環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	1	0	0		毎日アルコール消毒を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	3	0	0	子どものペースに合わせて教えられていると思う。	お子さんの特性を理解し、オーダーメイドの支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1	0	3		都度支援の情報共有を行い、より良い支援活動を展開していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	0	0	1		アセスメントやフィードバックを大切にしながら作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	0	0	1		ガイドラインに基づき必要な支援内容を考え運用しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	0	0	0		より細かくアセスメントしていきながら、お子さんに合わせた計画を作成し支援に繋げていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	3	0	2		今後もお子さんに合わせた支援内容を展開していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	5	5	13		保護者様からご要望があれば、交流も視野に入れていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	0	0	0		契約時には説明していますが、一度の説明だけでは難しい事も考えられるため、適宜説明の機会を設けていきたいと考えています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	0	0	0		今後も計画書を提示しながら丁寧な説明を心掛けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1	2	9		家族支援は行っていますが、研修の機会はないので今後検討していきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	30	1	0	1		来所の都合がつかない保護者様との連絡を増やしていく必要があると思っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2	0	1		こちらから待つのではなく、積極的に提案する事で話しやすい環境をさらに構築していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	3	0	0		今後も利用者様保護者様の立場になって支援を進めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	1	2	11	きょうだい児支援、あれば娘も参加させたい。	様々なイベントを立案し、沢山の方々に喜んでもらえるよう考えていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1	0	3		相談の申し入れがあった際には迅速に対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	0	0	0	毎日その日の活動内容の説明がある。	今後もフィードバックを大切に行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	1	1	7		ブログは毎月更新していますが、全員に情報が行き渡るよう再度方法を考えていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	4		今後も継続して個人情報の取り扱いには注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	0	0	7		ブログでは周知していますが全員に情報が行き渡るよう再度方法を考えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	0	11		契約時は勿論、定期的に訓練を行った事を周知していきます。災害時の対応についても適宜、準備していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	0	0	5	避難先のプリントが貼られている。	周知を徹底し、全員が認知できるようにご案内していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1	0	5		事故が起こってしまった際には、適切な対応が出来るように準備していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32	0	0	0	先生たちにも心を開いて嬉しそうです。	今後も安心できる環境を提供しながら支援を行っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	2	0	0	楽しみにして自ら行こうとしています。	今後も毎回楽しんでもらえるように創意工夫しながら支援内容を考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	0	0	0		今後も満足してもらえるよう、お子さん一人一人に向き合って必要な支援を展開していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌屯田校				公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		密室な状態を作らないように配慮しています。	物の配置を常に考えながら少しでも広々と使えるように考えていきます。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○	○	他事業所にヘルプを要請して必要なサービスを提供できるように整えています。	積極的に人員を採用し、より良い環境下で支援できるようにしていきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	重度の方は対象としていないので、バリアフリーは大きく意識していません。	バリアフリーではありませんが、玄関が滑りやすいなどの点は改善の余地があると考えています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃しています。	毎日アルコール消毒を行っています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室を用意しています。	1室しかない為、複数名個室を利用したい場合は現状難しいと考えています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		不定期ですが、運営会議を行っています。	定期的に開催していく事も検討していく必要があると思います。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		皆さんからいただいたご意見には全て目を通しています。	事業所全体で周知する時間を設け、業務改善に繋げていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日支援ミーティングを実施しています。	定期的に開催していく事も検討していく必要があります。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者による評価は受けていません。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		他校舎の見学や「発達支援研究所」と連携した研修を実施しています。	地区で開催している研修は中々参加できていません。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			今後も適切に行っていきます。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にあセスメントをしています。	毎年行っていますが、必要に応じて更新していきます。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員を交えながら、モニタリング会議を定期的に行っています。	今後も定期的に行っていきます。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		決められたファイルに綴じておくことで、誰でも閲覧できるようになっています。	定期的に確認する機会を設け、より支援計画を意識しながら支援に臨む環境を構築していきます。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会社独自のアセスメントシートを使用しています。	アセスメントシートの理解をより深めていきます。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに則った5領域に関わる計画を作成し、具体的な支援内容が提示できるように心掛けています。	今後も必要な項目を設定しながら具体的な支援内容を展開していきます。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別での活動になっていますが、良い事例などは全スタッフで共有しています。	常にチーム単位で考えながら今後も進めていきます。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		祝日や長期休暇など臨機応変に対応しています。	日々チームで考えながら取り組んでいきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育をメインにしつつ、毎月小集団のイベントを企画しています。	個別療育を主としているため、必要に応じて小集団の活動も取り入れていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼の時間には必要な情報についての確認を行い、役割を細分化しています。	毎日ミーティングする時間を設けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		基本的に全員で共有していますが、時間が限られている際は児発管だけでは伝えるようにし、翌日の朝礼で共有しています。	毎日ミーティングする時間を設けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援から3日以内を目標にし記入しています。また、毎日話し合う機会も設けています。	出来るだけ速やかに記録を入力できるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリング会議を実施しています。	今後も期限を守りながら作成していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿った基本活動を意識して支援を展開しています。	職員間での情報共有を行い、適切な支援が出来るように心がけていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		必要に応じて支援計画にも掲載し、自己決定の機会を多く儲けられるようにしています。	お子さんによって選択しやすい形を取りながら、支援を形成できるように留意します。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援や活動の中で関りが深いスタッフが参画するようにしています。	より多く参加出来るように計画していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校やその他の関係機関とは必要に応じて連携を深めています。	医療機関と連携していますので、保護者様のご要望があれば支援迄の体制も整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校やその他の関係機関とは必要に応じて連携を深めています。	保護者様のご要望があれば検討していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			保護者様のご要望があれば検討していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			保護者様のご要望があれば検討していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		現状、連携は行っていないので支援等の助言は受けていません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		保護者様からのご要望があれば、検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現状参加できていませんが、必要に応じて参加を画策していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		より丁寧なフィードバックが出来るように心掛けています。	送迎の都合がつかない保護者様との連絡を増やしていく必要があると考えています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族支援は行っていますが、研修の機会はまだ多くないため、計画していきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧な説明を心掛けています。	ご契約の際にお伝えさせていただいていますが、必要に応じて説明の機会は設けていきたいと考えています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			現状に満足せず、これまで以上にお子さんの利益を尊重しながら進めていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			今後も計画書を提示しながら丁寧な説明を心掛けていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		スケジュールを組んで時間を取れるようにして計画しています。	こちらから待つのではなく、積極的に提案する事で話しやすい環境を構築していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現状保護者会は開催出来ていません。きょうだい参加のイベントは実施した経験がありますので、今後も企画していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情があった際には適切な対応が出来るように準備をしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			ブログは毎月更新していますが、皆様に情報が行き渡るよう再度方法を考えていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関わる書面については鍵付きのロッカーで保管しています。	今後も継続して個人情報の取り扱いは注意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんに合わせた対応を心掛けています。	送迎の都合がつかない保護者様との連絡を増やしていく必要があると感じています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		保護者様からのご要望があれば、検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			各種アニュアルを整備し、訓練も定期的を実施しています。	ブログでは周知していますが、必要に応じて口頭でも行ったことを報告していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画の作成を行い、本部が主催の研修の受講や校舎ごとに訓練を実施しています。	ブログでは周知していますが、必要に応じて口頭でも行ったことを報告していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に情報を聞き取り、お子さんの状態について確認しています。	書類の確認とともに日々の情報共有から情報を更新していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	事前に情報を聞き取り、お子さんの状態について確認しています。	おやつ等の提供は行っていないですが、イベントで食べ物を扱う際には、丁寧に聞き取りを行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画の作成を行い、本部が主催の研修の受講や校舎ごとに訓練を実施しています。	定期的に研修を実施していますが、今後も細心の注意を払いながら安全管理を行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			周知が不十分であることは考えられるため、定期的にご案内していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険と感ずる事象があった際は、ヒヤリハットをまとめるように心掛けています。	今後も事故防止の為、計画を立てていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置して研修や訓練を行っています。	今後も事故防止の為、計画を立てていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束委員会を設置して研修や訓練を行っています。	身体拘束の3原則に則り、適切な判断ができるよう準備をしています。